

総合評価落札方式における 技術提案のオーバースペック対策事例集

※本事例集は、平成23年3月に作成・公表している総合評価落札方式における技術提案のオーバースペック事例集（「発注者側でオーバースペックを防ぐために留意している事例」、「提案に対し、オーバースペックと判断する（した）場合がある事例」）について更新を行ったものです。

※なお、個別の工事においては、適用される入札・契約方式、現場条件、工事特性等により必ずしもオーバースペックと判断されるわけではありません。各工事の入札説明書等をご確認いただくようお願いいたします。

令和7年3月

国土交通省国土技術政策総合研究所
社会資本マネジメント研究室

【発注者側でオーバースペックを防ぐために留意している事例】

工 種	工事内容	オーバースペックを求めるものと見なされる (オーバースペックの提案がなされやすい) 評価項目の設定	その理由	対応策
共通	全工種	提案範囲が曖昧または抽象的な表現のみによる評価項目の設定	提案範囲が曖昧または抽象的な表現のみによる評価項目を設定することで、不必要な箇所や工程において技術提案がなされ、オーバースペックな提案につながる場合がある	対象の部位や工程を示した上で評価項目を設定する。(ただし、範囲を限定することで提案内容が偏り、評価の優劣が付けられなくなる可能性があることに留意して設定する) 例)●●の工程における環境対策の技術提案を求める
共通	全工種	工事完了後の将来に渡る品質の維持に関わる評価項目の設定	提案内容が工事完了後における品質の維持等に関わる評価項目を設定することで、実施内容に対する検証が困難で結果としてオーバースペックな提案につながる場合がある。(ただし対象物の目的や構造上、設定が必要な場合及び将来の品質の維持に懸念等がある範囲を発注者が明確にした場合は除く)	例:原則、将来に渡る品質の維持に関わる評価項目の設定はしない。 (設定する場合には、将来の品質の維持に懸念等がある範囲を明確にして、耐久性向上等の評価項目を設定する。 例)桁端部における防食性向上対策等)
共通	全工種	提案範囲が曖昧で自由課題での評価項目の設定	提案範囲が曖昧な状況で自由課題とすることで、必要以上の範囲について提案がなされ結果としてオーバースペックな提案につながる場合がある	例:特定の範囲(工種、施工範囲・段階等)を示した上で自由課題を設定する。
共通	全工種	工事契約後の状況変化(工程遅延等含む)により、技術提案の履行が不能又は過大なコスト負担となるリスクがある評価項目の設定	工事契約後の状況変化により技術提案の履行が不能又は過大となり、結果としてオーバースペックな提案がなされる場合がある	例:工事契約後の状況変化により技術提案が不能又は過大となる可能性のある評価項目は設定しない 例)コンクリート打設において、暑中コンクリート、寒中コンクリートを想定した技術提案を行ったが結果として5℃～24℃など一般的な現場条件となった場合

【発注者側でオーバースペックを防ぐために留意している事例】

工 種	工事内容	オーバースペックを求めるものと見なされる (オーバースペックの提案がなされやすい) 評価項目の設定	その理由	対応策
共通	全工種	既存の品質管理基準及び規格値等が設定されている項目について、過度な管理を求める評価項目の設定 例) 舗装新設工事において、舗装表層の平坦性に過剰な数値設定がなされることが想定される「平坦性の向上」という評価項目の設定	既存の品質管理基準及び規格値等が設定されている項目について、標準より厳しい数値の提案などオーバースペックな提案がなされる場合がある	例: 既存の品質管理基準及び規格値等が設定されている項目については上限値・下限値の設定や、数値提案を求めるような評価項目は設定しない
共通	全工種	各種環境基準等で設定されている管理項目(排水基準 $ss \cdot pH$ 等)に関する評価項目の設定 例) 浚渫工事で整備済みの箇所に排泥するため余水排水処理が必要な場合において、 $ss \cdot pH$ を過剰に低減する提案がなされることが想定される「施工上配慮すべき事項(整備済箇所における余水排水処理に関する対策)」という評価項目の設定	各種環境基準等で設定されている管理項目(排水基準 $ss \cdot pH$ 等)について、標準より厳しい数値の提案などオーバースペックな提案がなされる場合がある 例) 排水に関する提案を求める際は、法的に規制されている排水基準よりも厳しい基準で排水を管理するなど、過度にコスト負担を要するオーバースペックな提案がなされる場合がある	例: 各種環境基準等で設定されている管理項目(排水基準 $ss \cdot pH$ 等)について技術提案を求めるような評価項目は設定しない 例: 排水に関する提案を求める際は、排水基準の上限値の設定や、数値提案を求めるような評価項目は設定しない
プレストレストコンクリート		PC橋梁上部工において、地覆及び高欄コンクリートについても高性能AE減水剤を添加する提案がなされることが想定される「コンクリートの充填性やひび割れ抑止等が必要な部位に対する配合及び打設・養生方法」という評価項目の設定(但し、対象部位を明確に設定し、配合変更や有効性について記載させることにより設定することを可とする)	PC橋梁上部工では、部位によりコンクリート打設の作業性が大きく異なるため、通常のコンクリート打設方法で所定の品質が確保される地覆などの部位については、過度なコンクリート品質となるオーバースペックな提案がなされる場合がある (但し、対象部位を明確に設定し、配合変更や有効性について記載させることにより設定することを可とする)	例: コンクリートの配合及び打設・養生方法の提案を求める際は、必要とする部位を限定する。また、有効性や配合変更の記載を求める。
アスファルト舗装		舗装新設工事において、舗装表層の平坦性に過剰な数値設定がなされることが想定される「平坦性の向上」という評価項目の設定	舗装工事において平坦性の向上を求める際は、標準案より厳しい数値の提案などオーバースペックな提案がなされる場合がある	例: 舗装工事で平坦性の向上を求める際は、平坦性の上限値の設定や、数値提案を求めるような評価項目は設定しない
浚渫		浚渫工事で整備済みの箇所に排泥するため余水排水処理が必要な場合において、 $ss \cdot pH$ を過剰に低減する提案がなされることが想定される「施工上配慮すべき事項(整備済箇所における余水排水処理に関する対策)」という評価項目の設定	排水に関する提案を求める際は、法的に規制されている排水基準よりも厳しい基準で排水を管理するなど、過度にコスト負担を要するオーバースペックな提案がなされる場合がある	例: 排水に関する提案を求める際は、排水基準の上限値の設定や、数値提案を求めるような評価項目は設定しない

【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

工 種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	その理由
共通	全工種	全般的な評価項目	【過度な費用を要する提案】 ◇提案の履行に要する『費用』が標準的な工法又は仕様と比較して高価なもので技術的な工夫や配慮(要素技術の活用は可)の域を超える提案	積算上、経費として計上すべきもの(技術提案・交渉方式の適用や設計変更が妥当)であるため
共通	全工種	全般的な評価項目	【過度な管理基準値の設定】 ◇各種環境基準等で設定されている管理項目(排水基準ss・pH等)に関して基準より過度な値で管理を実施する提案(ただし、現場条件や関係機関協議等により目的及び実施方法が的確な場合はこの限りではない)	各種環境基準等で設定されている管理項目について、基準値よりも過度な値で管理を実施することで過剰な費用を要すと判断
共通	全工種	全般的な評価項目	◇目的物の寸法、規格、仕様等、契約図書の変更となるような内容の提案または、現場条件等により設計変更の対象とすることを特記仕様書に明示している内容の提案	本来設計変更で対応すべき提案のため
共通	全工種	全般的な評価項目	◇構造計算を伴うような提案(構造計算に基づき構造物を構成している材料、材質、形状及び寸法の変更等を行う提案)	本来設計変更で対応すべき提案のため
共通	全工種	全般的な評価項目	◇仮設工における設計図書(参考図含む)以上の施工を行う提案	本来設計変更で対応すべき提案のため
共通	全工種	全般的な評価項目	◇追加ボーリングの実施等、設計図書以上の調査を行う提案	本来設計変更で対応すべき提案のため
共通	全工種	全般的な評価項目	◇出来形管理、品質管理における管理頻度・管理箇所の増加、試験項目の追加、規格値の厳格化	要求水準に対して過剰な材料・配合・工法・設計に関する提案のため
共通	全工種	全般的な評価項目	◇設計図書にて定める機器仕様を過剰に上回る設備の提案	要求水準に対して過剰な材料・配合・工法・設計に関する提案のため

【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

工 種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	その理由
共通	トンネル工事 橋梁基礎工事 プレストレスト・コンクリート コンクリート構造物工事	コンクリートの耐久性向上対策	◇温度条件が一般的な現場において、品質向上のために 暑中コンクリート、寒中コンクリートを使用するという提案	品質確保上「コンクリート標準示方書」に品質が確保されるよう 対処すべきこととして定められているため
一般土木	コンクリート構造物工事	コンクリートの品質・耐久性向上	◇ひび割れ防止目的のコンクリート混和材料を2種併用し、過大 な費用を要する提案	同一の部位において同一の目的で使用する材料の併用 や複数の提案を実施することによる改善効果に対して過 剰な費用を要すと判断
一般土木	コンクリート構造物工事	コンクリートの品質・耐久性向上	◇必要性が低いと判断される部位またはむやみに全体へ渡 るコンクリート混和材料等の使用に過剰な費用を要す提案また はコンクリートの配合において、使用する必要性が低いと判 断されるコンクリート混和材料に過剰な費用を要する提案 例) ・エポキシ樹脂塗装鉄筋の全面使用 ・コンクリート全量に膨張剤混入 ・コンクリート表面全面に含浸材または改質材の使用 ・コンクリート全量に繊維系混和材料使用	要求水準に対し過剰な品質・性能を実現するため、高価 な材料等の使用や必要性の低いとされる提案の実施に 過剰な費用を要すと判断
一般土木	コンクリート構造物工事	コンクリートの品質・耐久性向上	◇低発熱ポルトランドセメントの使用に加えて高強度コンクリートに変 更し、過剰な費用を要する提案	要求水準に対し過剰な品質・性能を実現するため、高価 な材料等の使用や必要性の低いとされる提案の実施に 過剰な費用を要すと判断
一般土木	河川構造物工事	コンクリートの良好な品質確保	◇品質確保のためにコンクリート強度を変更(水セメント比の変更 等)する提案	施工管理基準等の規定以上であり過剰であると判断
一般土木	河川構造物工事	コンクリートの品質確保を図るための施 工方法	◇品質確保のためにコンクリート強度を変更する提案	設計図書等の範囲を超えたグレートアップであると判断

【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

工 種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	その理由
一般土木	トンネル工事	長期耐久性と品質の向上	◇トンネル全線でAE減水剤(高性能・中性能)を採用する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	吹付けコンクリート及び覆工コンクリートにおいて、使用目的及び施工範囲が的確でない場合、過度なコスト負担と判断
一般土木	トンネル工事	コンクリートの品質・耐久性の確保	◇仮設トンネル全線でAE減水剤(高性能・中性能)を採用する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	ダム工事の(仮設的な)仮排水トンネル覆工のため(材料、配合に関する提案は評価しない旨、明示)
一般土木	トンネル工事	コンクリートの品質・耐久性の確保	◇仮設トンネルで充填性向上を目的とした流動化コンクリートを使用する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	ダム工事の(仮設的な)仮排水トンネル覆工のため(材料、配合に関する提案は評価しない旨、明示)
一般土木	トンネル工事	コンクリートの品質・耐久性の確保	◇仮設トンネルで高強度コンクリートを使用する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	ダム工事の(仮設的な)仮排水トンネル覆工のため(材料、配合に関する提案は評価しない旨、明示)
一般土木	トンネル工事	長期耐久性と品質の向上	◇トンネル全線で非鋼繊維補強コンクリートを採用する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	吹付けコンクリート及び覆工コンクリートにおいて、使用目的及び施工範囲が適確でない場合、過度なコスト負担と判断
一般土木	トンネル工事	コンクリートの品質・耐久性の確保	◇仮設トンネル全線で非鋼繊維補強コンクリートを採用する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	ダム工事の(仮設的な)仮排水トンネル覆工のため(材料、配合に関する提案は評価しない旨、明示)
一般土木	トンネル工事	覆工コンクリートの品質向上対策について	◇コンクリート用ひび割れ抑制ファイバー等を使用する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	使用目的及び施工範囲が適確でない場合、過度なコスト負担と判断

【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

工 種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	その理由
一般土木	トンネル工事	覆工コンクリートの品質・耐久性向上	◇養生のための設備に加えて養生剤を併用し、過大な費用を要する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	同一の部位において同一の目的で使用する材料の併用や複数の提案を実施することによる改善効果に対して過剰な費用を要すと判断
一般土木	トンネル工事	覆工コンクリートの品質・耐久性向上	◇風雨の影響を受けにくい部位を含むコンクリート全面にわたって表面改質剤を塗布し、過剰な費用を要する提案	要求水準に対し過剰な品質・性能を実現するため、高価な材料等の使用や必要性の低いとされる提案の実施に過剰な費用を要すと判断
一般土木	トンネル工事	覆工コンクリートの品質・耐久性向上	◇仮設トンネルでのコンクリート全面にわたる表面改質剤の塗布に過剰な費用を要する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	ダム工事の(仮設的な)仮排水トンネル覆工のため(材料、配合に関する提案は評価しない旨、明示)
一般土木	トンネル工事	断面縮小部の拡幅掘削における品質管理に係わる具体的な施工計画	◇設計図書等の範囲を超えたグレートアップに関する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	必要以上の高性能な注入材の使用に係わる費用が過度なコスト負担につながるため
一般土木	トンネル工事	覆工コンクリート施工計画	◇覆工コンクリートに関する事項における設計図書等の範囲を超えたグレートアップに関する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	吹付けコンクリート及び覆工コンクリートにおいて、使用目的及び施工範囲が的確でない場合、過度なコスト負担を要する提案と判断
一般土木	トンネル工事	掘削工及び支保工施工計画	◇掘削工及び支保工に関する事項の内、掘削パターンや掘削補助工法等において設計図書等の範囲を超えたグレートアップに関する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	使用目的、施工範囲が的確でない場合、過度なコスト負担を要する提案と判断
一般土木	トンネル工事	長期耐久性と品質の向上	◇地質条件に伴い設計変更対象となる掘削パターンや掘削補助工法に関する提案	設計図書に明示が無く設計変更の対象となる技術提案は評価しない
一般土木	トンネル工事	ウォータータイト区間のトンネル掘削工における地山の安定に係わる具体的な施工計画	◇地質条件に伴い設計変更対象となる掘削パターンや掘削補助工法に関する提案	必要以上の補助工法に係わる費用が過度なコスト負担につながるため

【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

工 種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	その理由
一般土木	トンネル工事	近接施工に伴う計測・観測方法について	◇計測設備を増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
一般土木	トンネル工事	近接施工に伴う計測・観測方法について	◇専任の計測・観測員を配置する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
一般土木	トンネル工事	坑口部の掘削に伴う地すべり地形の動態観測・管理体制について	◇動態観測機器を増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
一般土木	トンネル工事	坑口部の掘削に伴う地すべり地形の動態観測・管理体制について	◇専任の監視員を配置する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
一般土木	トンネル工事	坑口部の地すべり対策箇所における動態観測について	◇動態観測設備を増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
一般土木	トンネル工事	坑口部の地すべり対策箇所における動態観測について	◇専任の監視員を配置する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
一般土木	トンネル工事	低土被りトンネル施工における計測結果の活用について	◇地表面沈下測定箇所を増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
一般土木	トンネル工事	低土被りトンネル施工における計測結果の活用について	◇長尺先受け応力測定におけるひずみゲージを増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
一般土木	トンネル工事	掘削スリ運搬における環境保全対策について	◇機械設備を増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため

【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

工 種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	その理由
一般土木	トンネル工事	掘削スリ運搬における環境保全対策について	◇泥落とし装置を増設する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
一般土木	トンネル工事	掘削スリ運搬における環境保全対策について	◇専任作業員(道路監視員など)を配置する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
一般土木	トンネル工事	周辺地域への環境対策に係わる具体的な施工計画	◇周辺環境に対して、環境基準を大幅に下回る必要以上の対策効果を実現する提案	必要以上の周辺環境対策に係わる費用等が過度なコスト負担につながるため
一般土木	橋梁基礎工事	太径鉄筋や高密度配筋部を有する橋脚躯体工におけるコンクリート打設方法の工夫について	◇橋脚躯体工のコンクリート打設方法の工夫として高流動コンクリートを使用する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
一般土木	橋梁基礎工事	コンクリートの施工方法及び品質管理	◇品質確保のためコンクリート強度を変更する提案	設計図書等の範囲を超えたグレートアップに関する提案のため
一般土木	地盤改良工事	地盤改良による近接構造物への影響対策	◇設計基準強度を増加する提案	設計図書等の範囲を超えたグレートアップに関する提案のため
一般土木	地盤改良工事	地盤改良の品質確保に係わる具体的な施工計画	◇追加ボーリングの実施等、必要以上の施工管理を行う提案	設計図書等に明示がなく通常設計変更で対応している事項のため
一般土木	地盤改良工事	地盤改良による近接構造物への影響対策	◇追加ボーリングの実施等、必要以上の施工管理を行う提案	設計図書等に明示がなく通常設計変更で対応している事項のため

【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

工 種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	その理由
一般土木	築堤護岸工事	盛土工及び護岸工の施工管理について配慮すべき事項	◇追加ボーリングの実施等、必要以上の施工管理を行う提案	設計図書等に明示がなく通常設計変更で対応している事項のため
一般土木	築堤護岸工事	運搬作業における土砂飛散防止対策	◇築堤上運搬路をダンプ走行する際は、全て敷鉄板を敷設する提案	施工範囲が適確でない場合は、過度なコスト負担による必要以上の効果であるため
一般土木	築堤護岸工事	施工に当たって近隣住民および河川利用者へ配慮すべき事項	◇敷鉄板、鋼矢板等による過大な仮設を施工する等の提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
一般土木	築堤護岸工事	工事中の水質汚濁対策	◇排水基準値を大幅に下回る濁水処理施設(薬注施設増加)を設置する提案	過度なコスト負担での設備追加による必要以上の効果であるため
一般土木	築堤護岸工事	工事中の濁水等の流出等について配慮すべき事項	◇大規模な濁水処理施設(薬注施設を増加させたプラント)を設置する提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
一般土木	築堤護岸工事	狭隘な施工ヤードでの施工上配慮すべき事項について	◇施工延長全体にわたり仮設構台を設置する等の提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
一般土木	築堤護岸工事	盛土材料の掘削・運搬にあたって配慮すべき事項	◇河川敷搬入路全区間にわたり舗装を敷設する等の提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
一般土木	築堤護岸工事	施工時の施工機械等による隣接する一般家屋への騒音・粉塵等について配慮すべき事項	◇施工区間一連にわたり家屋高相当の防音・防塵壁を設置する等の提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため

【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

工 種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	その理由
一般土木	砂防堰堤工事	河川水質保全への施工上配慮すべき事項について	◇高度処理施設による水質浄化等	必要以上の対策効果を実現する提案のため
一般土木	砂防堰堤工事	打継目の越冬時保護対策及び越冬後の打継目処理	◇打設済み堰堤全体を防寒仮囲いにより被い越冬させる等	必要以上の対策効果を実現する提案のため
プレストレスト・コンクリート		PC鋼材の長期健全性を、高い信頼性・確実性で確保するための対策	◇主桁コンクリートについての繊維補強の提案	効果の程度及び範囲が適当ではないあるいは低いため
プレストレスト・コンクリート		コンクリート(床版(桁)、地覆、壁高欄)の充填性やひび割れ抑止等が必要な部位に対する配合及び打設・養生方法	◇地覆及び高欄コンクリートについて高性能AE減水剤を添加する提案	効果の程度及び範囲が適当ではないあるいは低いため
プレストレスト・コンクリート		PCケーブル(グラウト含む)の品質・耐久性向上	◇特殊なケーブルの採用に加え特殊なシースを併用し、過大な費用を要する提案	同一の部位において同一の目的で使用する材料の併用や複数の提案を実施することによる改善効果に対して過剰な費用を要すと判断
プレストレスト・コンクリート		PC橋の品質の確保、向上に資する工夫	◇支承鋼材部に重防錆塗装(亜鉛アルミ溶射+フッ素塗装)を施す提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
鋼橋上部工		現場施工の工程管理に係わる具体的な施工計画	◇機種・機械の大型化等、設計図書等の範囲を超えた効率化等を目的とした提案	設計図書等の範囲を超えたグレートアップに関する提案
鋼橋上部工		合成床版の品質管理に係わる具体的な工夫	◇設計図書等の範囲を超えた材料等のグレートアップに関する提案 (ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	設計図書等の範囲を超えたグレートアップに関する提案

【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

工 種	工事内容	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	その理由
鋼橋上部工		鋼橋の耐久性の確保、向上に資する工場製作等における工夫	◇鋼橋の増塗りに関する提案 (ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	必要以上の対策効果を実現する提案のため
鋼橋上部工		鋼橋の耐久性の確保、向上に資する工場製作等における工夫	◇重メッキを実施する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	必要以上の対策効果を実現する提案のため
鋼橋上部工		鋼橋の耐久性の確保、向上に資する工場製作等における工夫	◇金属疲労への耐性が高い鋼材等を使用する提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
鋼橋上部工		塗装の品質・耐久性向上または保護性さびの形成促進	◇風雨の影響を受けにくい部位も含む上部工鋼材全面にわたって塗装等を追加し、過剰な費用を要する提案	要求水準に対し過剰な品質・性能を実現するため、高価な材料等の使用や必要性の低いとされる提案の実施に過剰な費用を要すと判断
鋼橋上部工		鋼橋の耐久性の確保、向上に資する工場製作等における工夫	◇下地処理の金属溶射への変更に関する提案(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	必要以上の対策効果を実現する提案のため
鋼橋上部工		鋼橋の耐久性の確保、向上に資する工場製作等における工夫	◇耐候性鋼材のさび安定化処理、促進処理(ただし、目的や施工範囲を指定する場合は、この限りではない)	必要以上の対策効果を実現する提案のため
鋼橋上部工		床板の施工性及び品質の確保等における工夫	◇床版施工時の上屋養生設備に関する提案(ただし、発注者が技術提案対象の部位等を指定する場合はこの限りではない)	過度なコスト負担を要していると判断されるため
鋼橋上部工		工期短縮に関する施工上の工夫	◇工程短縮に関する提案(開示する工事工程表のパーティー数を大幅に超過するもの、重機の大型化など追加費用が発生するもの)	過度なコスト負担を要していると判断されるため

【提案に対し、オーバースペックと判断する(した)場合がある事例】

工 種	発注者側が設定した 評価項目	オーバースペックと見なされる 技術提案内容	その理由
鋼橋上部工	平坦性及び地耐力の確保に関する 施工上の工夫	◇現場内の平坦性及び地耐力の確保に関する提案(追加 で費用が発生するもの)	過度なコスト負担を要していると判断されるため
アスファルト舗装	橋面排水性舗装工の品質確保に関 する工夫(防水対策を含む)	◇橋面防水工において全面にわたってシート系防水層を設け る提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
アスファルト舗装	橋面排水性舗装工の品質確保に関 する工夫(防水対策を含む)	◇レベリング層において全面にわたって砕石マスチック混合物 (SMA)を使用する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
アスファルト舗装	軟弱地盤における構造物脇の舗装 の残留沈下対策に関する工夫	◇BOX脇路床部の改良に軽量混合土等を使用する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
アスファルト舗装	工程管理に係わる具体的な方策に ついて	◇機種・機械の大型化等、設計図書等の範囲を超えた効率 化等を目的とした提案	機種・機械の大型化等に係わる費用が過度なコスト負担に つながるため
アスファルト舗装	平坦性の向上	◇舗装表層における平坦性に過剰な数値を設定する提案	過度なコスト負担を要していると判断されるため
浚渫	施工上配慮すべき事項	◇特に必要性が認められない引船、押船、安全監視船等を 過剰に配備する提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため
浚渫	施工上配慮すべき事項	◇余水排水処理においてss・pHを過剰に低減するための対 策を行う提案	必要以上の対策効果を実現する提案のため